

平成25年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：高校教育指導課
 担当名：体験活動・キャリア教育推進担当
 内線：6772 (単位：千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|---|----------------|---------|--|------|------|--------|-------------|----------------|-------------|
| B28 | 県立高校教育環境整備支援事業 | | | 一般会計 | 教育費 | 教育総務費 | 教育連絡調整費 | 指導内容充実費 | |
| 事業期間 | 平成25年度～ | 根拠法令 | 障害者基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 | | | 戦略項目 | 06 | 時代に応え未来を拓く人材育成 | |
| | | | | | 分野施策 | 020203 | 障害者の自立・生活支援 | | |
| 1 事業の概要 ノーマライゼーション教育の理念に基づき、障害のある生徒が、県立高校で安心・安全な学校生活を送れるよう支援を行う必要がある。 県立高校に生活介助支援員を配置し、身体障害のある生徒の日常生活の介助を行う。 (1) 県立高校教育環境整備支援事業 23,086千円 | | | 5 事業説明 (1) 事業内容 ア 県立高校教育環境整備支援事業 29,754千円 ア (ア) 生活介助支援員の配置 24,954千円 身体障害のある生徒に対し、日常生活の介助を目的に生活介助支援員を配置 配置校数：20校 対象：身体障害を有する生徒で介助を要する者 介助内容：排泄、食事、移動補助等 (イ) 一時的な専門員の活用等による支援(20校) 4,800千円 修学旅行等校外行事への支援員の同行及び必要用品(車椅子等)の貸与 (2) 事業計画 障害のある高校生が安心・安全な学校生活を送れるよう、生活介助支援員の配置等など新しい視点で支援を行っていく。 (3) 事業効果 ア 各学校における支援の標準化 イ 安心して安全な学校生活環境の整備 (4) 補正予算の概要 ア 県立高校教育環境整備支援事業：生活介助支援員の雇用が見込みを下回ったこと等による減額 | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)高等学校費 (細目)生徒経費 (細目)生徒経費 (積算内容)特別支援教育支援費 | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.1人=950千円 | | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| 決定額 | 23,086 | 諸収入 | 99 | | | | | 22,987 | 6,668 |
| 現計額 | 29,754 | | 122 | | | | | 29,632 | |